



2020年2月13日

各位

会社名 株式会社ジェイテックコーポレーション  
 代表者名 代表取締役社長 津村 尚史  
 (コード番号：3446 東証マザーズ)  
 問合せ先 取締役 管理部長 平井 靖人  
 (TEL. 072-655-2785)

## 第2四半期業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2019年8月9日に公表いたしました2020年6月期第2四半期累計期間の業績予想につきまして、本日公表の実績値との間に下記の通り差異が生じたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 2020年6月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異 (2019年7月1日～2020年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想値 (A)	450	△81	△82	△56	△9.70
実績値 (B)	282	△211	△213	△150	△25.77
増減額 (B-A)	△167	△129	△131	△94	
増減率 (%)	△37.2	—	—	—	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2019年6月期第2四半期)	299	△94	△52	△30	△5.27

#### 2. 2020年6月期第2四半期累計期間のセグメント別売上高の業績予想値と実績値との差異 (2019年7月1日～2020年12月31日)

	オプティカル事業	ライフサイエンス・ 機器開発事業	合計
	千円	千円	千円
前回予想値 (A)	363,577	86,596	450,174
実績値 (B)	176,977	105,918	282,895
増減額 (B-A)	△186,600	19,321	△167,278

#### 3. 差異が生じた理由

##### 【第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異】

売上高及び各段階損益について、前回発表予想値に対して実績値が下回る結果となりました。

これは、オプティカル事業における売上見込みに対して売上実績が下回ったことが要因であり、顧客の都合による仕様変更や納期変更により、第2四半期から下期に出荷がずれた案件が多くあったためであります。これらについては出荷時期のずれのため、当事業年度中に売上計上する見込みであり

ます。

一方で、ライフサイエンス・機器開発事業においては売上見込みに対して売上実績が上回っております。水晶振動子ウエハ加工の試作開発が順調に推移したことや、ドイツの放射光施設における集光装置のソフトウェア開発による売上を計上したこと等によるものであります。

#### 【通期の業績予想値について】

オプティカル事業においては、第4四半期に見込んでいた中国・アメリカ向けの売上について、販売先施設の建設や研究等の一部計画の遅れに伴い受注時期にずれが生じたため、売上について期ずれとなる案件が発生しております。

一方で、ライフサイエンス・機器開発事業においては、水晶振動子ウエハ加工の試作開発が順調に推移したことに伴い、新規事業案件である量産向けの水晶振動子ウエハ加工システムの受注が予想よりも前倒しとなり、当初の売上予想値よりも増加する見込みであります。

上記の要因により、セグメント売上につきましては、オプティカル事業が減少しライフサイエンス・機器開発事業が増加すると見込んでおり、業績予想を再集計した結果、2020年6月期の通期業績予想につきましては、2019年8月9日公表の予想値から変更しないことといたしました。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上